

《令和4年度 建設部 組織目標》

様式2

◆目標管理者

技監	東岡 正樹
部長	打田 敏之
理事	生田 英樹
理事	奥山 敏樹

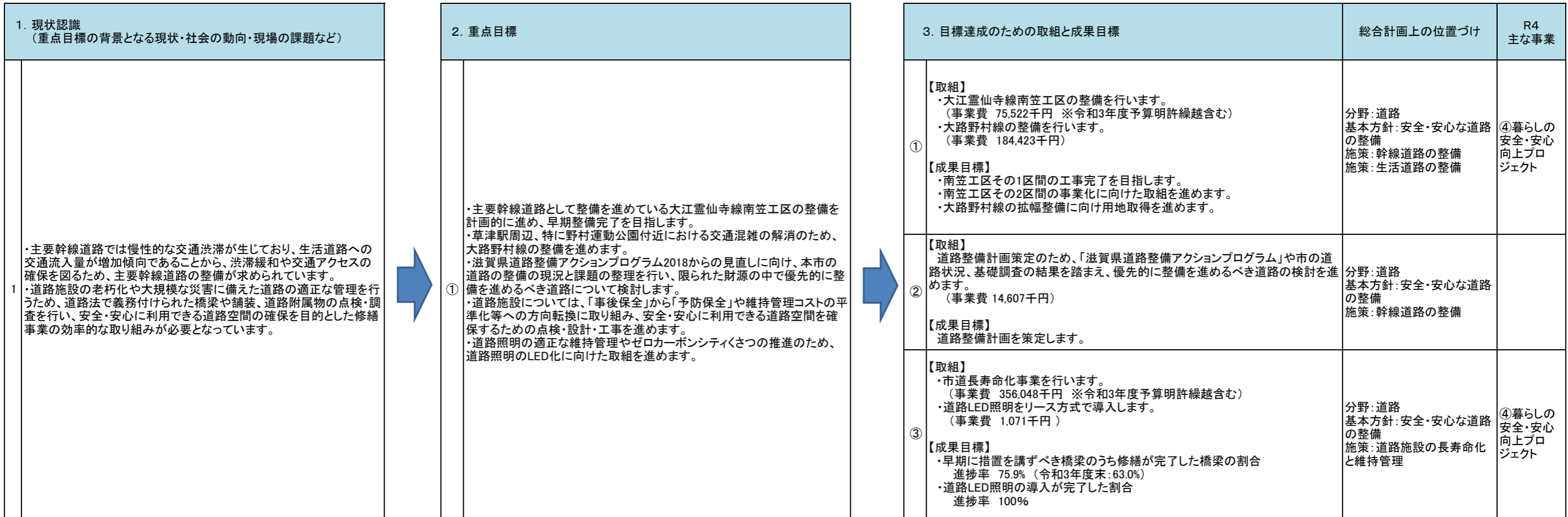
◆部局の役割・目標像

草津市民や草津を訪れる人々にとって、心地よさをいつも感じられ、住みよいまち、住み続けたいまちをつくるため、都市形成の基盤をなす道路、河川、公園、市営住宅の整備を進めるとともに、インフラ資産の適正な維持管理を図ります。

- ◆道路施設や公園施設の長寿命化と適正な維持管理を行います。
 - ・橋梁、舗装、道路附属物や公園遊具等の予防保全に努め、適切な修繕を行います。
- ◆広域主要幹線道路や生活道路・歩道などの整備を進め、安全・安心に利用できる道路空間の構築を推進します。
 - ・各広域主要幹線道路の早期完成、早期事業化に向け国県等に対し要望していきます。
- ◆河川・排水路の適切な整備と管理による治水対策を行います。
 - ・雨水排水路の整備を計画的に進めるとともに、既存の河川・排水路の適切な維持管理を行います。
- ◆ガーデンシティの推進を図り、公園や緑地の整備、活用を行うことにより、安らぎと憩いの場の充実を図ります。
 - ・都市公園の整備を進めるとともに、既存公園のあり方検討を行います。
 - ・草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めるとともに、草津川跡地公園のさらなる“にぎわい”と“うるおい”の創出に努めます。
- ◆(仮称)草津市立プールの整備を進めます。
 - ・「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を基本方針に掲げ、市民、県民のスポーツ振興や健康づくりに資する施設として整備を進めます。
- ◆大規模災害に備え、土地(道路、河川等)に係る正確な財産管理を図ります。
 - ・市街地の地籍調査を実施します。
- ◆市民の住まいの安心と安定を支えます。
 - ・公営住宅の供給等を通じて、市民の住まいへの安心を支える住宅セーフティネットの構築を進めます。
 - ・改良住宅の譲渡処分により、地域コミュニティの活性化を支援します。
 - ・老朽化が進む公営住宅の計画的な長寿命化対策等を通じて、超高齢社会への対応を進めます。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出(職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	7	0	0	7	-	-	-
道路課	14	0	5	19	1,097,821	514,671	583,150
河川課	8	1	1	10	349,657	274,266	75,391
公園緑地課	10	0	2	12	565,894	149,587	416,307
草津川跡地整備課	6	0	2	8	654,080	528,969	125,111
プール整備事業推進室	4	0	0	4	2,018,418	1,929,752	88,666
土木管理課	6	0	5	11	83,072	40,062	43,010
住宅課	9	0	3	12	411,749	308,826	102,923
				0			0
				0			0
				0			0
				0			0
合計	64	1	18	83	5,180,691	3,746,133	1,434,558



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業
<p>・平成25年度の台風18号をはじめ、近年集中豪雨が多発しているなか、市内の既設河川や排水路については、河道の土砂堆積などによる通水阻害の解消が求められています。</p> <p>2 雨水幹線整備については、重点整備による効率的な整備が必要ですが、接続先となる一級河川の整備が進まず、雨水整備計画の支障となっています。</p>	<p>② 令和2年度に総務省が新たに創設した「緊急浚渫推進事業債」を活用し、市内で緊急的に実施する必要がある河川等について、浚渫・樹木伐採等を計画的に実施します。</p> <p>・市内の雨水幹線整備を計画的に進めるとともに、河川・排水路の適切な管理による治水対策を行います。</p>	<p>④ 【取組】 緊急浚渫推進事業債を活用し、通水障害となる浚渫土、樹木等の撤去を行います。 (事業費 20,400千円)</p> <p>【成果目標】 市内6河川にて浚渫・伐採に向けた事業を実施します。</p> <p>⑤ 【取組】 雨水幹線の整備を行います。 (事業費 201,507千円 ※令和3年度予算明許繰越含む)</p> <p>【成果目標】 事業計画整備面積に対する整備達成率 68.2% (令和3年度末:67.8%)</p>	<p>分野: 防災 基本方針: 治水対策の推進 施策: 河川・排水路の整備</p> <p>分野: 防災 基本方針: 治水対策の推進 施策: 公共下水道雨水幹線の整備</p>	
<p>・市民等のニーズを踏まえた公園・緑地の整備が必要です。</p> <p>・令和7年度の国民スポーツ大会に向けて、草津グリーンスタジアム人工芝等の改修を進める必要があります。</p> <p>・オープンから30年以上が経過し、ロクハ公園プールを取り巻く社会環境の変化や、施設の老朽化が進んでいることから、今後のプール施設のあり方について検討する必要があります。</p> <p>・第3次草津市みどりの基本計画に基づき、「ガーデンシティくさつ」を推進する必要があります。</p>	<p>③ 野路公園の整備を進めます。</p> <p>・草津グリーンスタジアム人工芝の改修を進めます。</p> <p>・ロクハ公園プールにおけるあり方検討委員会の基礎資料となる、プールの劣化状況を把握するために詳細調査を行います。</p> <p>・ガーデニングの促進や活動団体の育成、支援を進めます。</p>	<p>⑥ 【取組】 野路公園の用地取得を進めます。 (事業費:3,000千円)</p> <p>【成果目標】 野路公園用地取得率 90%(令和3年度末:28%)</p> <p>⑦ 【取組】 草津グリーンスタジアム人工芝の改修工事を行います。 (事業費:106,191千円 ※令和3年度予算明許繰越含む)</p> <p>【成果目標】 施設の安全性に満足する施設等への改修を実施します。</p> <p>⑧ 【取組】 ロクハ公園プールの劣化状況を把握するために詳細調査を行います。 (事業費:17,199千円)</p> <p>【成果目標】 次年度のあり方検討委員会のための基礎資料となる調査を行い、課題整理等を行います。</p> <p>⑨ 【取組】 市内におけるガーデニング活動団体の支援を行います。 (事業費:707千円)</p> <p>【成果目標】 ガーデニング活動参加者延べ人数:524人 (令和3年度:501人)</p>	<p>分野: 公園・緑地 基本方針: ガーデンシティの推進 施策: 公園・緑地の整備</p> <p>分野: 公園・緑地 基本方針: ガーデンシティの推進 施策: 公園・緑地の活用</p> <p>分野: 公園・緑地 基本方針: ガーデンシティの推進 施策: 公園・緑地の活用</p> <p>分野: 公園・緑地 基本方針: ガーデンシティの推進 施策: まちなみ緑化の推進</p>	<p>③にぎわい・再生プロジェクト</p>
<p>・草津川跡地公園の良好な環境や空間を維持するとともに、新しい生活様式に対応した魅力的な公園運営を行う必要があります。</p> <p>・草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めていく必要があります。</p>	<p>④ 区間4について、滋賀県をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。</p> <p>・区間6について、滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。</p> <p>・区間2、5(ai彩ひろば、de愛ひろば)について、民間ノウハウを生かした指定管理者による管理を行うとともに、草津まちづくり株式会社や園内の店舗事業者、市民活動など、多様な主体が関わる公園運営を行い、にぎわいを創出します。</p>	<p>⑩ 【取組】 ・区間4JR琵琶湖線草津川トンネルの交差部分の道路拡幅整備を滋賀県とともに進めます。 ※草津市都市再生本部会議関連事項 (事業費 65,277千円)</p> <p>・区間6の整備に係る用地取得を栗東市とともに進めます。 ※草津市都市再生本部会議関連事項 (事業費 337,752千円 ※令和3年度予算明許繰越含む)</p> <p>・区間6の整備に着手し、実施設計を栗東市とともに進めます。 ※草津市都市再生本部会議関連事項 (事業費 116,928千円)</p> <p>・草津川跡地公園について指定管理者による管理を行います。 (事業費 105,600千円)</p> <p>【成果目標】 「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合 41.9%(令和3年度実績 40.6%)</p>	<p>分野: 公園・緑地 基本方針: 草津川跡地の空間整備 施策: 草津川跡地の整備</p>	<p>③にぎわい・再生プロジェクト</p>
<p>平成30年11月に策定した『(仮称)草津市立プール整備基本計画』の基本方針である「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るため、令和7年に開催予定の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また、大会後の利活用を見据えて、(仮称)草津市立プールの整備を進めます。</p>	<p>⑤ 令和6年6月の供用開始(予定)に向け、事業者や滋賀県をはじめとする関係機関等と連携しながら、計画的な事業進捗を図ります。</p>	<p>⑪ 【取組】 ・引き続き、PFI方式により(仮称)草津市立プールの整備を進めます。</p> <p>・引き続き、隣接する県道下笠大路線の付替や周辺道路等の改修工事を進めます。 ※草津市都市再生本部会議関連事項 (事業費 2,645,651千円 ※令和3年度予算明許繰越含む)</p> <p>【成果目標】 PFI方式により建築工事を進めるとともに、県道下笠大路線の付替や周辺道路等の改修工事を進めます。</p>	<p>分野: 生涯学習・スポーツ 基本方針: スポーツの充実 施策: スポーツ環境の充実</p>	<p>③にぎわい・再生プロジェクト</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・改良住宅は、入居者の代替住宅として建設したものであり、地域での安定した暮らしに向けて、国の承認を得て、有償譲渡を進める必要があります。 ・平成29年度に外部有識者による改良住宅譲渡審議会を設置し、有償譲渡に向けた課題整理を行いました。 ・令和元年度から譲渡処分を開始しました。今後も継続して譲渡処分を進める必要があります。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展により、公営住宅のニーズが高まっています。 ・本市の公営住宅の多くは、昭和50年代に建設しており、老朽化が進むとともに、バリアフリーの問題など、超高齢社会に備えた適切な更新が必要です。 ・平成29年度に改訂した「草津市市営住宅長寿命化計画」において、老朽化した公営住宅の長寿命化対策等を位置付けています。



2. 重点目標	
⑥	有償譲渡を希望される入居者に対し、順次譲渡処分を進めます。
⑦	市営常盤団地の長寿命化対策を推進します。



3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R4 主な事業
<p>【取組】 昨年度の申込者25名(25戸)のうち7名(7戸)の譲渡を完了します。また残りの18名(18戸)の申込者および今年度の申込者に対し、譲渡に向けた手続きを行います。</p> <p>⑫ ※草津市同和対策本部関連事項 (事業費 89,742千円)</p> <p>【成果目標】 譲渡戸数 7名(7戸) (令和3年度実績 11名(13戸))</p>	<p>分野:都市形成 基本方針:都市と住環境の質・魅力向上 施策:良質な住宅資産の形成</p>	
<p>【取組】 市営常盤団地B棟の長寿命化対策工事を行います。 (事業費 136,195千円)</p> <p>⑬</p> <p>【成果目標】 市営常盤団地B棟の工事進捗率 40%</p>	<p>分野:地域福祉 基本方針:福祉の総合的な相談・支援の充実 施策:セーフティネットの充実</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>